

【教育目標】
○よく学ぶ子
○思いやりのある子
○たくましい子



【栗野小のめざす子】

5つの気（本気 やる気 和気 元気 根気）のある子
5つの気ですて木な学校を創ります。 文責 茅島 拓

令和3年 9月21日
住 所：鹿沼市口栗野802
TEL：85-2034
FAX：85-2125
〈公式ホームページ〉
アクセスはQRコード
をご利用ください。



〈あいさつ運動〉

市民育成会議の皆様による「あいさつ運動」が行われました。」大勢の方に笑顔で迎えられ、前向きな気持ちになりました。地域の皆さんは栗野小と子供たちをととても大切にされています。笑顔で交わすあいさつは温かい気持ちになります。

〈「おはようございます」の「ございます」〉

昼や夜のあいさつは「こんにちは」「こんばんは」なのになぜ朝のあいさつは「ございます」と丁寧に言うのでしょうか。一説では歌舞伎界の朝のあいさつから来ているとも言われます。歌舞伎役者は支度に相当時間がかかるためかなり早く会場に入ります。その際裏方が労いの気持ちを込め、「お早いおつきでございます。」と出迎えたとのこと。その言葉が変化したということも一説にはあるようです。相手の早い出勤や登校を労い「ごくろうさま」という思い遣りの気持ちがあるのですね。

〈新型コロナウイルス感染症対策〉 集中力を養おう



2学期から各自の机にはパーテーションを置き感染症防止に努めています。緊急事態宣言発令により仕方がない措置ですが、子供たちの安全を第一に考えやむなく実施しています。給食のときはこれまでどおり無言で前を向いて食べます。このパーテーションは障害にはなりますが、逆に「よく話を聴こう」という意識を強化することになります。本来机には装着しないものですが、この状況下において、そのよさを最大限に生かし活用しようと考えます。

〈9月 秋高し〉 活力あふれる月に

9月前半は雨が続きましたが、後半になってすいぶん秋らしい爽やかな日になりました。朝晩のひんやりした空気は身の引きしめる思いがしますね。近年は温暖化が進み、春と秋が短くなったと言われます。しかし学習や運動に最も適したこの季節こそ充実させたいと思います。中旬から運動会の練習が始まり、子供たちから、目標に向かう意気込みが伝わりました。



体育館で熱の入った練習風景

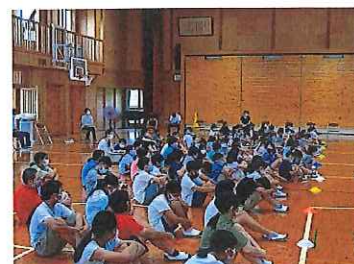
教室でも「よっちゃん」を踊る様子

大気が澄み渡り一層熱の入った練習になりました。

〈「ありがとう」の習慣化 2〉 絆を深めるために

始業式で『「ありがとう」の言葉をたくさん使おう。』と話しました。学校だよりの7月号にも記載させていただきましたが、「ありがとう」は在り・難い、そうすることが難しい、そこまで大変なことをしてくれた。そうしたことへの感謝の気持ちを表しています。また、「ありがとう」は「この先ずっと残してほしい言葉」「言われてうれしい言葉」「自信が出る言葉」でナンバー1になっています。

また、「ありがとう」の言葉を発したとき、後ろ向きな思考にはならないと言われます。日本は「言葉」を大切にす国です。「言霊」という言葉があるくらい言葉には「魂」が込められています。



オリンピックの閉会式でも世界中の「ありがとう」の文字が映し出されました。全世界で大切にされている価値ある言葉です。言葉の持つ力を一層実感して絆の強い関係を築いていきたいですね。

〈オンライン授業〉 子供たちの素早い定着度に驚きます。

今月は「休校」に備えてオンライン授業の準備をしました。みんな熱心に操作を学び、めきめきと上達していきました。さらに有効な学習方法を模索していこうと思います。本校は試験的にオンライン授業の手法を他校に先駆けて教えていただきました。研修の成果を生かし、さらに効果的な指導を日々追求していこうと思います。



（タブレットを用いたオンライン授業の練習）

（職員の研修風景）

〈オリンピック・パラリンピックが終わって〉 思い出すこと

オリンピック・パラリンピックが終わりました。実施にあたり様々な意見が出されましたが、大きな感動を覚えることができたのは事実ではないでしょうか。これまで多くのオリンピックを見てきましたが、中でも忘れられない出来事があります。

2000年のシドニーオリンピックの柔道です。決勝で篠原選手の「一本」と思いきや、相手選手の有効ポイントになってしまい、最終的に負けてしまった試合です。篠原選手は決して言い訳せず一本を取れなかった自分を責めました。

「弱かったから負けた」「審判に不満はない」「潔い」の一言につきますが、自分の技量を冷静に判断すること、自分自身を真摯に見つめる大切さを痛烈に実感させられました。



〈ICT活用を通して〉 ノートの活用も大切に

今年度になって一気に学校教育のICT化が進みました。機器を組み合わせる様々な通信やリアルな映像を体感できます。しかし、やはりノートの活用は大切です。



「書く」活動により思考が整理され発言する上で役だったり、メモをすることでより相手の話を理解しやすくなったりします。タブレットを思考を深める材料としつつ、さらにノートの活用を通して学習効果を高めていきたいと思います。

〈彼岸花〉 街道沿いを鮮やかに

「曼珠沙華」とも言われます。 Sanskrit語によると「おめでたいことの起こる前触れ、天から花が舞い落ちる」という意味があるようです。また仏教では「花を見た者の悪業を払う」とも言われています。



本地区は地域の方々から株分けして街道沿いに植え直していただきました。（休み時間に応援の練習をする様子）

道々たくさんの彼岸花が咲いていますので、登下校中それらを目にしながら心を浄化し、新たな気持ちで その日を、また翌日を迎えてほしいと思います。

10月の行事予定

- 2日 運動会 8:30~12:00 4日 運動会振替休日
- 5日 5年生森林学習（ティッシュボックス作り）
- 6日 4年生板荷自然体験学習（粕尾小と合同） 8日 ノアの会読み聞かせ
- 8日 通学班会議 12日 4年生手話教室
- 13日~14日 6年生修学旅行 15日 KLV 読み聞かせ 3・4年生社会科見学
- 15日 5年生稲刈り
- 19日 地区学級経営部会研修会（本校体育館） 22日 就学時健診 ノアの会読み聞かせ
- 26日 5年生収穫感謝の会 27日 5年生算数科研究授業
- 5年生研究授業は地区内に動画配信を予定しています。
- 29日 4年生食に関する指導



【教育目標】

○よく学ぶ子
○思いやりのある子
○たくましい子



【栗野小のめざす子】

5つの気（本気 やる気 和気 元気 根気）のある子
5つの気ですてきな学校を創ります。 文責 茅島 拓

令和3年10月21日
住 所：鹿沼市口栗野802
TEL：85-2034
FAX：85-2125
〈公式ホームページ〉
アクセスはQRコードをご利用ください。



〈10月 神無月〉日本、地域の伝統、風習について

10月を「神無月」（かんなづき）（かみなしづき）と呼ぶのは諸説あります。中でもよく知られているのが、毎年、旧暦の10月に全国から神様が出雲大社に集い、その期間は各地の神様がなくなるため「神無月」と呼ぶようになったということです。出雲大社の地元では「神在月（かみありづき）」と呼ばれ、神々を迎える浜で「神迎神事」を執り行います。同じ10月なのに地方で呼び方が違うのは面白いですね。

本地区を流れる「思川」もお米の豊作を願い「田を思う川」の意味から「思川」という名がついたとも言われます。すてきなネーミングです。昔の人々の熱い思いを感じますね。

地域内には「十九夜」の石碑がたくさんあります。調べてみると旧暦の十九日には回り番の当番の家に集まって「十九夜様の石仏の前にお供えをして、塔婆を立て、月が出るまで飲んだり食べたりする」ということでした。日頃から家事や子育てに忙しかった女性の楽しみとして行われたということです。最近の社会情勢の中、失われつつある風習ですが、折に触れそうした由来を知ると多忙な日常生活の中に潤いを感じますね。

〈2年生担任〉新しい先生が着任しました。

10月1日より2年生担任の安野陽子が半年間の内地留学（宇都宮大学）となりました。代わりに東小学校より加藤美規が着任しました。専門は体育です。着任早々運動会となりましたが、これまでの経験を生かし、係の仕事、子供たちの指導にスムーズに取り組んでいました。2年生保護者の皆さんは11月の個人懇談でどうぞお話しください。

〈運動会〉スローガン 『心を燃やせ 本気でがんばる運動会』

10月2日に緊急事態宣言が明け、台風一過の青空の下、運動会が実施されました。今年の運動会は当初9月11日に予定されていた期日を再延期しました。保護者の皆様にはご理解とご協力をいただき何とか実施にこぎ着けました。本当にありがとうございます。

サプライズでとち丸君もやってきました。半日でありましたが、多くの場で「心を燃やす瞬間」に出会うことができました。



とちまる君が駆け付け、一緒にダンスを踊りました。軽快な動きにみんな

びっくりしました。

〈人を叱る3つのコツ〉 井村 雅代

1 現行犯で叱る (アーティストックスミングコ-和代表ヘッドコーチ)

○今のそれがだめなんだ、
「この前も同じこと言ったじゃないか」は古いことを持ち出されると今やったことの反省が薄れる。また、しつこく叱るのも叱る本人の自己満足にすぎない。聞いている方は「もう分かったよ」と嫌気がさす。

2 叱るときは本気で向き合う

○自分に本気で向き合っているかは小さい子でも分かる。中途半端なら知らないふりの方がまし。

3 叱ることはその子の可能性を信じること

○自分の目の前の子はこのままでは終わらない。今より必ずよい状態になる。よくなるまであの手、この手で引き上げようとする。

厳しい口調で叱る場面を見ることが多い井村さんですが、選手に手書きのメッセージを送り、労を労うなどのフォローを欠かせなかったと言います。



とちまる君と記念撮影



〈修学旅行〉

10月13日～14日、歴史学習と関連の深い福島・会津方面に出かけました。福島の修学旅行は昨年に引き続きの実施です。今回の活動は学習との接点があること、様々な体験活動が実施できること、そしてその体験が後の生活につながることを重視し行いました。1日目は雨のスタートでしたが夕方には晴れ間が出て、2日目は青空に恵まれました。日新館にある会津藩「什（じゅう）の掟」によると自然の遊びのうちに社会人としての基本を教えることをねらいとして、子どもは子ども同士、年長者と同年輩の中で覚えていくのが自然であると言うのが藩の方針とありました。

近隣の遊びの仲間10人を一組として「遊び」をさせ「お話」をするという制度に発展させることで幼い子でも無理なく年長者への尊敬や礼儀を覚えたと言うことです。今の学校教育に共通する面がたくさんあることに感心しました。不易の教えであることを実感しました。



野口英世記念館



鶴ヶ城で集合写真



会津藩校日新館で弓道にチャレンジ



ホテルでテーブルマナー教室

〈2年生 研究授業〉

へんをつくり



9月22日、「同じへんの漢字のなかまを集めて、へんのひみつを見つけよう」のめあての下、自分の集めた漢字のへんは何に関係しているのか、さんずいは水、にんべんは人 等出し合いました。どの漢字が正しいのか迷ったときに、漢字の意味を考えると正しいへんを導くことができます。

〈5年生 森林学習〉 森林の学びとティッシュボックスづくり

10月5日、栗野木材協会、栗野商工会の皆様のご指導の下、杉や檜のよさ、鹿沼市内の森林面積、森林の大切な働きなど様々なことを学びました。昨年に引き続いた活動です。

木に囲まれた生活は心が落ち着きます。香りに癒やされます。そして体験活動によって一層木の価値を理解することができました。檜のティッシュボックスは改良を重ね更に作りやすい物にしてくださいました。

〈4年生 自然体験学習〉 板荷自然体験交流センターで学びました。

10月6日、1日の活動でしたが、火起こし体験、杉板焼きなど粕尾小の子と一緒に活動しました。粕尾小の子は2019年には本校で学習したことがあります。すでに顔なじみでしたが、自分



にない他の子のよさを吸収してこれからの生活に生かしてほしいです。

11月の行事予定

5日 学習発表会 学校評議員会議 12日 かぬま教育の日13：00下校
19日 共遊 22日～26日 個人懇談14：05下校 12月1日 持久走大会

竹は秋に芽を出し春に枯れるという、普通の木々とは逆の生長パターンをもっています。春は筍が生え出るために養分をとられてしまい、竹自体は衰え、紅葉したり、落葉したりします。しかし秋になると新しい葉を出し、鮮やかな色を取り戻します。その様子を「竹の春」と呼ぶことはとても趣深く新鮮です。これから寒くなるこの季節に生命の息吹を感じるの気持ちがいいですね。

